

さんさんだより

平成31年3月13日(第5号)

兵庫小学校
算数 少人数ＴＴ
黒岩・中尾・諸石



<1・4年生> 担当 黒岩

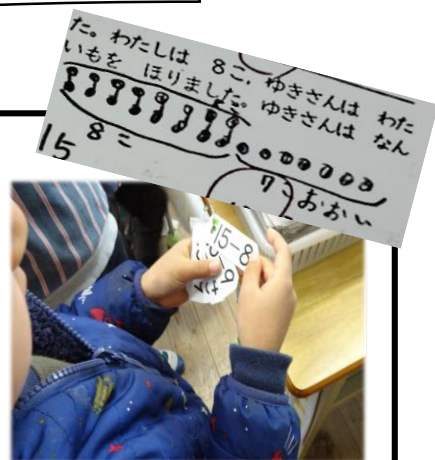
<1年生>

「ずをつかってかんがえよう」

この単元では、問題文から場面を読み取る国語力が求められています。「〇〇さんのうしろに△にん」「●●より□こおい」など、言葉が複雑なので想像力を働かせて、何を問われているのかを理解する必要があります。授業では、問題文から「わかっていること」と「聞かれていること」に線をひき、ノートに図をかき、対応するもの同士を線で結んで視覚的に理解できるように指導しています。しかし、まだ計算ミス、単位のつけ忘れ、単位間違いが見られます。「式を読み取る力」「見直しをする態度」をこれからも磨いていってほしいです。

「計算カードチャレンジ! ~2分間で計算カードを言い終える~」

タイマーを構える先生の前でスピードと正確さを求められるという状況はとても緊張するようで、なかには開始早々固まってしまう、悔し泣きをする人もいました。しかし練習を重ねたことにより、次第に上達が見られました。「あと3まい!」など、子どもたちの「がんばるぞ!」という気持ちが伝わってきます。子どもたちを温かく見守り、応援してくださるご家族の皆様、ありがとうございます。春休みに復習をがんばってほしいです。

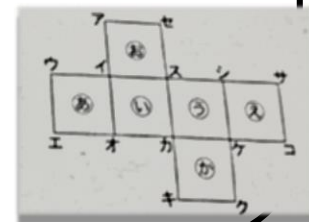
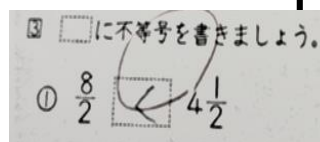


<4年生>「小数のかけ算とわり算」「分数」「直方体と立方体」

小数のかけ算とわり算では、小数点のつけ忘れや計算ミス、四捨五入の間違ひが多かったです。焦らずじっくり問題を見なおすことが大切です。

分数では、仮分数を帯分数や整数にかえる問題、帯分数のひき算で分数部分がひけないときの計算に、まだつまずきが多いようです。整数と仮分数を合わせたものを帯分数としてしまうミスもよく見受けられます。計算のしかたをしっかりと復習して、5年生につなげてほしいです。

直方体と立方体では、指に乗るほどのミニチュア立方体や様々な展開図を作っている子どもたちの姿が見られました。まるで建築家のように「見取り図」に熱中している人もいました。展開図から組み立てた形を想像したり、見取り図を使って直方体の面と辺の関係を調べたりするのが難しかったようです。これからも立体に多く触れてもらいたいです。



<2・5年生> 担当 諸石

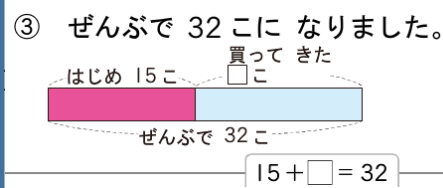
<2年生>「図を使って考えよう」の学習について

「図を使って考えよう」の学習では、たし算やひき算の場面をテープ図に表しました。求める量を□にしてテープ図に表すと、□を使った式に表すことができ、□にあてはまる数が求めることができます。

子どもたちは、文章問題に書かれている数字だけを見て、式を立てがちです。しかし、テープ図を書くことによって求めるのは、全体なのか、部分なのかをはっきりさせることができます。文章問題をテープ図にを使って表す学習は今後の学習にも役立つので、指導を続けていきたいと思います。

「図を使って考えよう」の学習について

「はこをつくろう」の学習では、箱の面の数や形を意識させました。この学習は、4年、5年にもつながるので、丁寧に学習しました。まず、紙に箱の面を写して切り取り、完成した箱を見本として、面と面のつなぎ方を考えながら、箱を作りました。試行錯誤して作ったことで、棒とゴム玉で作った模型を見ても、すぐに面と辺と頂点の数には、気付くことができました。



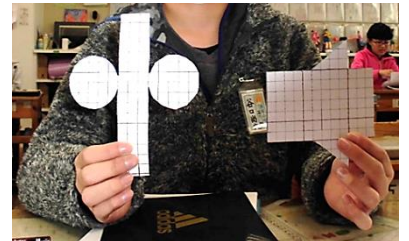
写し取った紙を、箱の形に完成させた児童の様子

<5年生>「分数のかけ算とわり算」の学習について

分数の計算は、これまでに、たし算・ひき算について学習しています。5年生では、分数×整数、分数÷整数の計算の仕方を理解し、計算が確実にできるように練習をしました。2学期に、「分数のたし算・ひき算」の学習に苦手感を感じていた子どもたちは、この学習では、「途中で約分すると、計算が簡単で正確！」というこつをつかみ、意欲的に取り組むことができたようです。

「角柱と円柱」の学習について

この学習では、「角柱」や「円柱」、「底面」や「側面」などの語句、「側面の数」「頂点の数」「辺の数」について、立体を触ったり、電子黒板の図を見たりして、確認しながら理解させました。また、角柱や円柱の「見取り図」や「展開図」をかけるようにしてきました。子どもたちは、こつが分かると、いろいろな角柱や大きさの違う円柱の「見取り図」や「展開図」にチャレンジすることができました。



円柱と三角柱の展開図を作った児童の様子

<3・6年生> 担当 中尾

3年生 「ぼうグラフと表」の学習について

3年生最後の単元「ぼうグラフと表」を学習しました。「正」の字を使って、表に書き入れまとめました。その後、棒グラフの読み取り方を学習しました。1めもりがいくつになるかを調べて、棒が表している値を読み取りました。グラフに数字や印を書き入れながら、正確に読み取ることができるようになっています。棒の高さによって、値の大小が分かるので、棒グラフのよさを感じているところです。また、棒グラフのかき方も学習しています。子どもたちがどのような表やグラフをかいているか、ぜひノートを見ながら話してみてください。

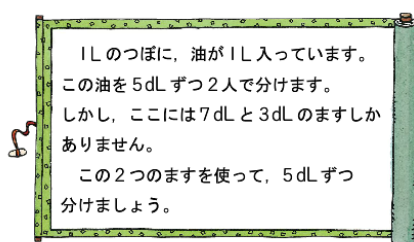


棒グラフを正確に読み取ろうとしている3年生

6年生 「算数卒業旅行」

6年生の最後は、算数への興味・関心を高め広げることをねらいとして、中学体験入学、ミステリー、国際、和算、クイズ・パズルの5コースの学習をしています。中学体験入学コースでは、0より小さい数、 -1 、 $-2 \dots$ や分数でも表せない数 $\sqrt{2}$ （ルート二）のような数があることを知り、中学数学を少し体験しました。また、ミステリーコースの魔方陣や錯視では数や図形の神秘さや不思議さにふれました。中学でも、ぜひ数学に興味をもってがんばってほしいと思います。子どもたちが苦戦した問題は下の2つです。挑戦してみてください。

2 油わけ算



下のような図をかいて考えるとわかりやすいよ。

3 入れ子算

